

(2) 修学旅行

県立盲・聾・養護学校

学部別	行き先泊数	行き先			泊数			人数
		仙台方面	東京方面	京都方面	1泊2日	2泊3日	4泊5日	
小学部	1	—	—	1	—	—	13	
中学部	2	7	—	3	6	—	101	
高等部	—	—	2	—	—	2	45	
計	3	7	2	4	6	2	159	

(3) 養護教育交流推進事業（県単事業）

① 心身障害児と健常児とが、共同の生活体験をもつことにより、健常児には障害者に対する正しい理解と認識を高め、障害児には積極的に社会に参加する態度の育成を目的に、昭和54年度より継続実施した。

② 昭和58年度の実施状況

〈交 歓 会〉

対 象 校	実施月日	場 所	参加者数
福島養護学校小学部 ↔ 岡山小学校	昭和58年9月29日	霊山子どもの村	171人
石川養護学校小学部 ↔ 沢田小学校	昭和58年6月28日	白河南湖公園	79人

〈合同野外活動〉

対 象 校	実施月日	場 所	参加者数
福島養護学校中学部 ↔ 平野中学校	昭和58年9月13日 昭和58年9月14日	郡山少年自然の家	145人
石川養護学校中学部 ↔ 沢田中学校	昭和58年11月10日 昭和58年11月11日	郡山少年自然の家	60人

③ 養護教育諸学校においては、本年度をもって一度ずつ実施することができたが、この事業を通して心身障害児

(3) 訪問学校

⑭ 〈県立盲・聾・養護学校〉

月	日	曜	学 校 名	養 護 教 育 課			高 校 教 育 課		教 育 事 務 所	学 校 教 育 指 導 委 員
				課 長 主 幹 課 長 補 佐	管 理	指 導	管 理 (駐 在)	指 導 (駐 在)		
5	27	金	平 養 護 学 校	主 幹	小 松	鈴 木	相 楽			渡 辺
5	30	月	い わ き 養 護 学 校	課 長	小 松	平 久 澤 保	相 楽	櫛 田	吉 岡	橋 本
6	9	木	須 賀 川 養 護 学 校	課 長	小 松	平 鈴 澤 木	宗 像	松 本		小 林

と健常児の双方に、当初の予想を上回る成果をあげるとともに、地域社会の人々の障害者に対する理解・認識を深めることができた。

8 学 校 訪 問

(1) 目 的

県立盲・聾・養護学校及び特殊学級設置小・中学校並びに市立養護学校を訪問し、学習指導、生徒指導、管理運営等の実態を踏まえて、学校・学級経営の充実を期するための諸問題について検討し、必要に応じて、相談、助言、指導を行う。

(2) 訪 問 者

① 養護教育課

課 長
主 幹
課長補佐
主任管理主事（兼振興係長）
管理主事
主任指導主事
指導主事

金 沢 英 夫
後 藤 真 太 郎
亀 岡 貞 男
小 松 忠 夫
高 城 俊 春
平 沢 伸 雄
斎 藤 真
鈴 木 信 良
丹 野 功 一
久 保 恒 義

② 高校教育課

県北駐在管理主事
県中
いわき
県北駐在指導主事
県中
県南
いわき

紺 野 勇
宗 像 列 郎
相 楽 達
大 場 賢 一
松 本 敏 則
蓬 田 道 郎
櫛 田 幸 太 郎

③ 教育事務所

いわき教育事務所 指導主事

吉 岡 栄 一

④ 学校教育指導委員

盲 学 校 教 諭
聾 学 校 教 諭
西郷養護学校 教諭
郡山養護学校 教諭
須賀川養護学校教諭

小 林 光
橋 本 政 一
我 妻 昌 幸
渡 辺 高 嘉
芳 賀 良 夫
石 井 康 子